

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道250号 ^{しまま} 飾磨バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 兵庫県
起終点 自：兵庫県姫路市白浜町 至：兵庫県姫路市飾磨区宮		延長 2.95km	
事業概要 一般国道250号は、兵庫県神戸市を起点とし、岡山県岡山市に至る延長約167kmの幹線道路である。飾磨バイパスは、播磨地域の臨海部を横断する重要な幹線道路にあって、現道拡幅及びバイパス整備により渋滞を解消することを目的とした延長約3.0kmの4車線道路である。			
H2年度事業化	S21年度都市計画決定 (H3年度変更)	H3年度用地着手	H13年度工事着手
全体事業費	207億円	事業進捗率	75%
計画交通量	30,900 台/日	供用済延長	0km
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 1.4 (残事業) 8.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 39 / 232 億円 事業費：36 / 229 億円 維持管理費：3 / 3 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 330 / 330 億円 走行時間短縮便益：305 / 305 億円 走行費用減少便益：13 / 13 億円 交通事故減少便益：12 / 12 億円
基準年 平成16年			
事業の効果等 物流効率化の支援（特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる。） 安全な生活環境の確保（歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される） 他10項目			
関係する地方公共団体等の意見 一般国道250号飾磨バイパスは、臨海部の工業地帯を結び、産業の発展に寄与することが期待されており、姫路市から早期整備の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成12年12月に姫路・太子バイパスが無料化されたが、国道250号の交通量の減少は僅かである。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収は概ね完了しており、現道拡幅区間は平成17年度供用予定である。バイパス区間は平成16年度より市川大橋の工事に着工した。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 現道拡幅部を平成17年度に供用し、バイパス部も用地買収を概ね完了している。			
施設の構造や工法の変更等 (仮)市川大橋においてライフサイクルコストの最小化検討を行い、ミッドメタスを目指した橋梁形式を採用した。			
対応方針		事業継続	
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。